

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山陽小野田市立小野田中学校区家庭教育支援チーム (呼称:すまいる)
②活動拠点	山陽小野田市立小野田中学校、山陽小野田市立小野田小学校 山陽小野田市立須恵小学校
③活動範囲	同上(小野田中学校区)
④組織体制	<u>14 人</u> 各校学校運営協議会委員(地域学校協働活動推進員)3名 市家庭教育支援チーム員2名、人権擁護委員1名 民生委員1名、保護司1名、地域交流センター長2名 小野田中学校 PTA 会長1名、各校地域連携担当教員3名
⑤活動開始年度	平成30年度(2018年度)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山陽小野田市教育委員会社会教育課 (TEL)0836-82-1204 (E-mail) shakyo-syuji@city.sanyo-onoda.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 【家庭教育研修会や親子活動の開催】 保護者の学習機会の場の提供や、中学校区3校の保護者同士のつながりの深化のために、家庭教育の研修会や「『親の学び』プログラム in 小野田」を開催している。 【小野田中学校におけるあいさつ運動への参加】 保護者や生徒に対する家庭教育支援チームの周知とつながりづくりを行うために、月に1回程度、中学校におけるあいさつ運動に参加している。 【その他】 ・年3～4回の定期会議への参加 ・県主催の家庭教育アドバイザー養成講座・ステップアップ講座、市主催の「地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト！」研修会等、各種研修会への参加による資質向上
④活動の成果 (活動実績がある場合)	「『親の学び』プログラム in 小野田」はコロナ禍以降、保護者と家庭教育支援チーム員との交流を主な目的とした「すまいる交流会」として開催している。参加者(親)に実施したアンケートでは、「自分の子供が通う学校だけでなく、他の学校の保護者と顔見知りになれて良かった。」「子育てについてのいろいろな話が聞くことができた。」「このような保護者同士が関わる活動を続けてほしい。」といった声があり、開催については高評価であった。小野田中学校区家庭教育支援チーム員からも、今後もこのような活動を実施していきたいという前向きな声があがっている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:学校を核とした地域力強化プラン) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()